



発行 全国治水期成同盟会連合会

東京都千代田区平河町2-7-5 (砂防会館内)
電話 03(3222)6663 FAX 03(3222)6664

編集・発行人 下川 順
印刷所 株式会社 白橋印刷所

会員(定価1部100円) その他一般(定価1部150円)
毎月1回15日発行

平成21年に発生した災害の状況



土砂災害 真尾地区 (山口県防府市)

目次

平成21年に発生した災害の状況	2
平成21年度「森と湖に親しむ旬間」をかえりみて	5

平成21年に発生した災害の状況

<平成21年7月中国・九州北部豪雨による被害>

7月19日から21日にかけて、山陰沖から近畿地方を
通って東海地方にのびる梅雨前線に向かって非常に
湿った空気が流れ込み、前線の活動が活発化した。
また24日から26日にかけて、九州北部地方から山陰、
北陸地方を通って東北地方にのびる梅雨前線に向か
って非常に湿った空気が流れ込み、再び前線の活動
が活発化した。

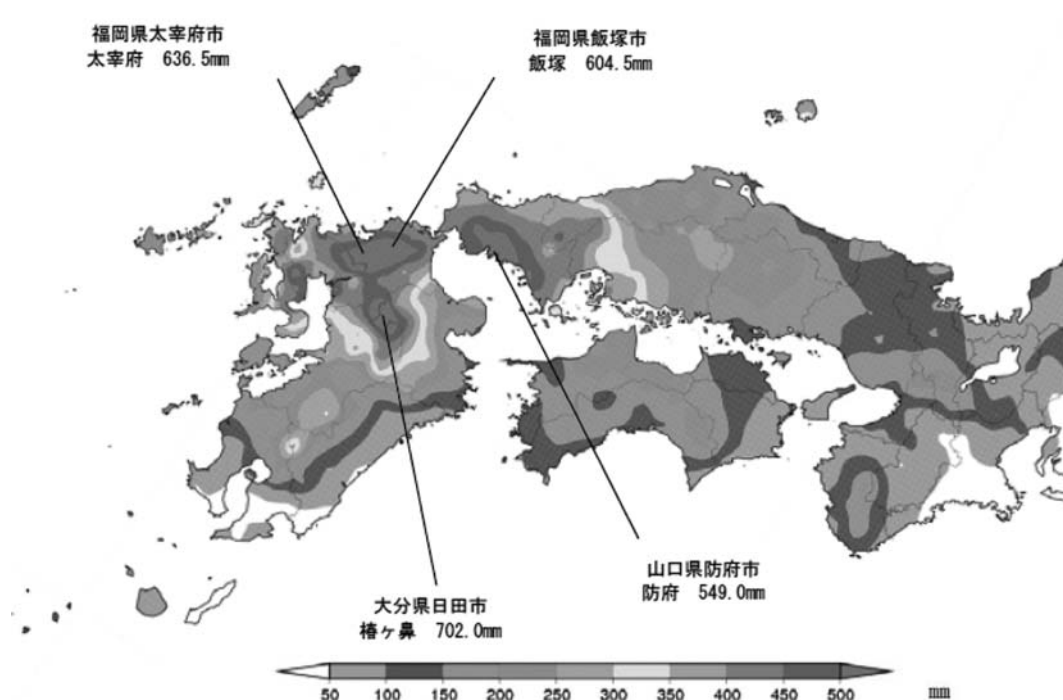
19日から26日までの総雨量は、大分県日田市椿ヶ
鼻で702ミリ、福岡県太宰府市太宰府で636.5ミリ、
山口県防府市で549.5ミリ、山口県山口市で546.5ミ
リなどとなり、場所によっては、この期間の雨量が
7月の平均降水量の2倍近くになった。

この大雨により、各地で浸水被害や土砂災害が発
生し、22日には山口県防府市真尾で土石流が発生し
特別養護老人ホームの入居者7名が死亡した他、こ

の大雨により、死者31名、負傷者46名の人的被害を
受けた。



遠賀川
(福岡県直方市)



期間降雨量分布図 (7月19日~26日)

[出典：気象庁発表資料]

○一般被害 (消防庁調べ：平成21年9月15日 18:00現在)

死 者 (人)	負傷者 (人)	住家全壊 (棟)	住家半壊 (棟)	一部損壊 (棟)	床上浸水 (棟)	床下浸水 (棟)
31	46	47	99	192	2,155	9,549



九州自動車道
(福岡県大野城市)



武雄伊万里線
(佐賀県伊万里市)

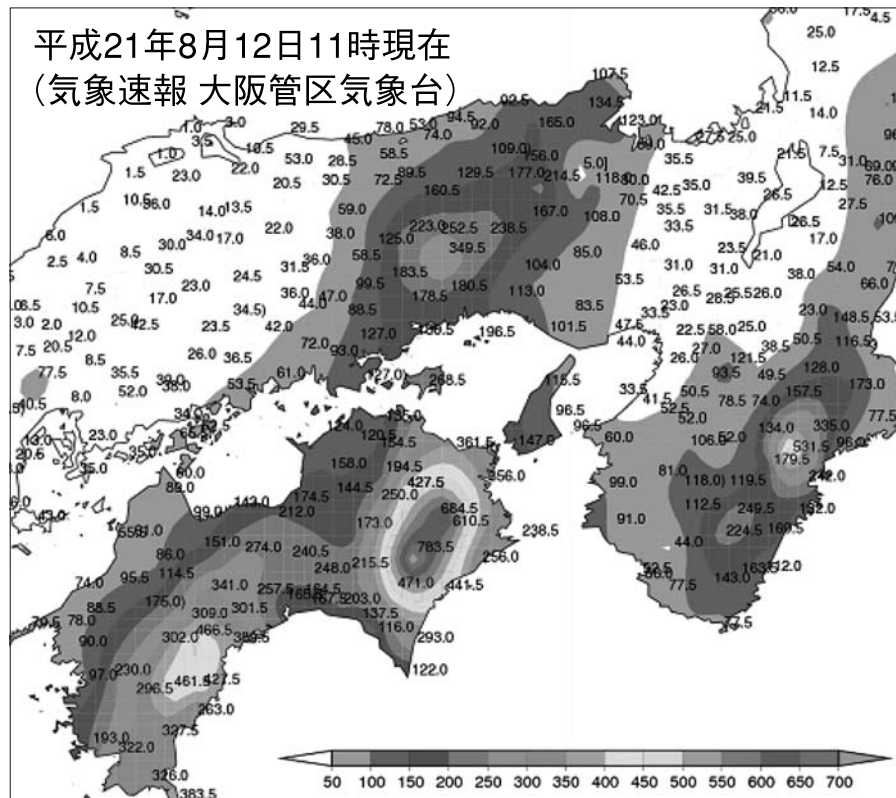
＜台風第9号による被害＞

8月8日に日本の南にあった熱帯低気圧が9日21時に台風第9号となり、紀伊半島の南海上に北に進み、この熱帯低気圧及び台風の周辺の非常に湿った空気の影響で、中国、四国地方から東北地方にかけて大雨となった。

8日15時から11日15時までの総雨量が徳島県那賀町木頭出原で783.5ミリ、高知県津野町船戸で466.5ミリ、兵庫県佐用で349.5ミリ、岡山県美作市

今岡で252.5ミリを観測するなど、四国地方で降り始めからの雨量が700ミリを超えた所がある。

この大雨により、東北から関東、四国にわたる幅広い範囲で浸水被害や土砂災害が発生し、床上浸水1,152棟、床下浸水4,416棟(9月11日11時30分現在)の住家が浸水した。特に兵庫県の佐用川では溢水・氾濫が生じ、県内で床上浸水335棟、床下浸水1,493棟(9月11日11時30分現在)の住家が浸水するなどの被害が生じた。



8月8日15時～11日12時のアメダス降水量積算図

○一般被害（消防庁調べ：平成21年9月11日 11：30現在）

死者 (人)	行方不明者 (人)	負傷者 (人)	住家全壊 (棟)	住家半壊 (棟)	一部損壊 (棟)	床上浸水 (棟)	床下浸水 (棟)
25	2	23	173	974	31	1,152	4,416

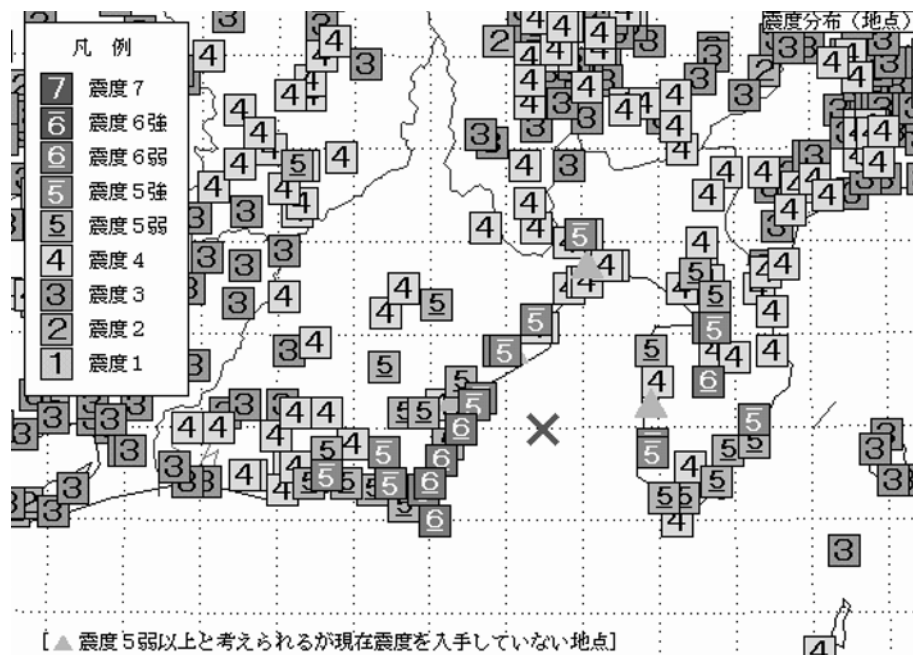
<8月11日 駿河湾を震源とする地震による被害>

8月11日 5時7分頃駿河湾（北緯34.8度、東経138.5度、御前崎の北東40km付近）を震源とする深さ23km、マグニチュード6.5（暫定値）の地震が発生し、静岡県伊豆市、焼津市、牧之原市、御前崎市で震度6弱を観測した。

この地震により、東名高速道路の法面路肩が40mにわたり崩壊したほか、各地で被害が発生し、交通機関に混乱が生じた。



地震で法面路肩が崩壊した東名高速道路上り線
(静岡県牧ノ原市)



【▲ 震度5弱以上と考えられるが現在震度を入手していない地点】
 【発表時刻】平成21年8月11日 05時21分 気象庁地震火山部
 【震源要素】平成21年8月11日 05時07分頃 駿河湾
 御前崎の北東 約40km M6.6 最大震度 6弱

震度分布図（H21年8月11日）

[出典：気象庁HP]

○一般被害（消防庁調べ：平成21年9月15日 18：00現在）

死者 (人)	負傷者 (人)	住家全壊 (棟)	住家半壊 (棟)	一部損壊 (棟)
1	319	0	5	7,913

平成21年度「森と湖に親しむ旬間」をかえりみて

国土交通省河川局河川環境課

国土交通省、林野庁、都道府県、市町村は、人々に森や湖に親しむ機会を提供することにより、心身をリフレッシュし、明日への活力を養っていただくとともに、そうした機会をとおして森林やダム湖のもっている自然豊かな空間や社会生活にはたしている役割等を理解していただくことを目的として、毎年7月21日から31日までを「森と湖に親しむ旬間」として定めています。

本年度で23回目を迎え、全国各地の約240のダムやその周辺の森林を会場として、ダム見学会、水辺や森林などの自然とふれあい親しむ教室、森や湖について理解を深めることができるレクリエーション等の行事が開催され、多くの方の来訪がありました。

この中のいくつかの実施状況について紹介します。

○宮ヶ瀬ダム「森と湖に親しむ旬間」関連行事

「宮ヶ瀬湖森と湖に親しむ旬間イベント」は、ダム湖来訪のきっかけとなるよう①ダム内部一般開放、②観光放流、③宮ヶ瀬湖に棲む淡水魚水族館を7月25日(土)、26(日)に行いました。

ダム内部の一般開放は1回40分を午前・午後の2回行い、その参加者は監査廊の涼しさに驚き、ダムゲート等の説明を真剣に聞いていました。参加者数は2日間で1,133人(H20は835人)を記録しました。



ダム内部一般開放



観光放流

○横山ダム「森と湖に親しむ旬間」関連行事

横山ダムは、我が国でも13ダムしかない中空重力式コンクリートダムで、ダム内部が空間となっている珍しいダムです。ダム内部の見学のほか、中空を利用したダム内部の温度の違いや、音響の測定、水の力の違いについて実験を行っていただきました。また、再開発事業を実施している施工業者によるダム湖上流部で地元小学生によるアマゴの稚魚を放流する体験会や、全国のダム愛好家で組織している「Dam Web Ring」によるダム写真展も合わせて実施し、より多くの方の来訪がありました。



ダム湖上流部でアマゴを放流する児童



「Dam Web Ring」によるダム写真展



真名川ダムのキャットウォークを歩く見学者

○真名川ダム・九頭竜ダム「森と湖に親しむ旬間」
関連行事

真名川ダム、九頭竜ダムでは、ダムの堤体内や操作室、ゲート室などダムのスケールや構造を実体験していただく見学会を開催しました。また、森林管理署や県による工作教室やパネル展示、ダムマニアの方による写真展（以上真名川ダム会場）、地下発電所見学会や流木配布（九頭竜ダム会場）等が行われ、天候には恵まれなかったものの、2日間で計687人の親子連れの方などが福井県内外から来場され、ダムを身近に感じる1日を過ごしていただきました。



九頭竜ダムのゲートを見下ろす見学者

終わりに、行事運営にご協力、ご尽力いただきました関係者の方々に対しまして、御礼申し上げます。